

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 22 日 (17 : 30 ~19 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	4 人	0 人	14 人

前回の改善計画	初めて利用される方は不安が大きいことを理解し、初日は担当者もしくは日直が利用者の不安を軽減するために寄り添いながら対応する。利用者のことをこちらが理解するだけでなく、職員のことでも理解していただくために、職員の写真とプロフィールを書いた、職員カードを本人と家族にお渡りする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用前に収集した情報を共有し、初日には1日のスケジュールを説明し、座席の配慮や、活動の参加を促し不安が軽減するように努めている。職員の写真とプロフィールについては作成できず、職員の名前が覚えられないと話される利用者もおられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	11	1	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	1	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	10	1	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	9	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員会議や朝礼で利用者の事前情報を共有している ・座席の配慮や他者との関係性の配慮をしている ・利用初日は特に不安が大きく緊張もされているので、職員自身が自己紹介をしたり、他の利用者に紹介したりして場を和ませる工夫をしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員の写真やプロフィールの作成ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者やその家族との関係性を築き、早く利用環境に慣れて頂くために職員の写真やプロフィールの作成を行い、利用開始時にお渡りする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 22 日 (17 : 30 ~19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	10 人	3 人	1 人	14 人

前回の改善計画

長期目標を達成するための短期目標であることを理解し、計画作成担当者と利用者の担当職員が協同でモニタリングを行い、本人視点での「～したい」を捉え、担当職員が他の職員にも説明ができるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

立位や歩行などの機能訓練だけでなく、家事動作などを通して役割を持ってもらい、本人がしたい事、できる事を計画作成担当者と職員で共有しプランに落とし込むことができた。一方で、職員の関わりが不十分で再アセスメントができず「～したい」が捉えきれないケースもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	9	4	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	5	5	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	8	3	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	4	5	2	14

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・プランに趣味や本人のしたい活動を記載し、参加した活動の写真を家族に報告している
- ・ミーティングで振り返りや協同でのモニタリングをして支援内容の変更を行っている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・日々の業務に追われ、ゆっくりとコミュニケーションをとることができず「～したい」をとらえきれないケースがある
- ・職員会で詳しい情報を伝えるが欠席している職員等に真意が伝わっていないことがある

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

言語だけでなく、表情やしぐさから本人の「～したい」を感じ取り、個別の支援計画 (企画) を実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 22 日 (17:30 ~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	13 人	1 人	0 人	14 人

前回の改善計画	体調や身体機能の変化に合わせて、介助方法の見直しを行い統一したケアを行う。 (介助方法を動画に撮り、全職員が確認する)
前回の改善計画に対する取組み結果	介助方法やポジショニングについて動画や写真を活用しケアの統一を図っているが、時間が経過すると相談なく介助方法が変更されているケースがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	10	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	14	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	10	1	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	9	4	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	2	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・利用者の状態の変化に注意し、管理者や計画作成担当者に報告しケア方法を相談し、介助方法や対応に変化がある場合は動画や写真で情報を共有している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・動画や写真で情報の共有をしながらケアの統一を図っているが、職員の理解や認識不足でケアの徹底ができていないことがあった。 ・職員の勝手な判断で、相談や検討をしないのにケアを変更していたことがあった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 職員間でケアを統一するために動画や写真を使用して情報を共有することを継続するだけでなく、実際の介助方法を管理者及び介護リーダーで確認し、実践の中で指導する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 11 月 22 日 (17:30 ~19:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画	<p>※コロナ対策を徹底したうえで、可能な地域活動に参加し、連携や協力いただける体制を整備する。          ※利用者と家族に了解を得た上で、自宅の環境の写真を撮らせて頂き、全職員が自宅での生活イメージができるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>コロナウイルスの影響で、地域活動は少ないが事業所に獅子舞や神輿に来てもらったり、防災に関する連携協議会を定期的で開催し協力体制を築いている。また自宅を訪問しない職員が利用者の自宅での過ごし方をイメージしやすいように写真をとり情報共有を行った。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	12	0	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	5	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	11	2	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	4	7	2	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・コロナウイルス等の感染対策を講じながら、地域との交流や連携に努めている。また、本人とその家族と一緒に認知症カフェに参加し、事業所だけでなく地域からの理解や協力が得られることで安心して過ごせるよう支援した。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・自宅の環境を写真に撮らせて頂けないご家族もいて情報共有ができていないケースもある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>24 時間 365 日の支援なので、事業所で支援している時間以外の過ごし方を理解するために、自宅環境の確認 (写真) するだけでなく、訪問記録を充実させ、情報共有を図る</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 22 日 (17:30 ~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	2 人	2 人	14 人

前回の改善計画	利用者を中心とした生活の中で、地域で活用できる資源を計画作成担当者と担当職員で確認し、他の職員にも情報提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果	馴染みの美容室に行ったり、認知症カフェ等に参加し地域の資源を周知したり体制づくりを行った。一歩う、地域の資源（社会資源）については全職員で共有することはできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	11	2	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	9	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	8	2	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	10	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
馴染みの関係が継続できるような支援を心掛け、通い慣れた美容室に行ったり、スーパーへの買い物に同行したりしている。また身体状況や健康面の変化についてはタイムリーな報告、連絡、相談を徹底し、状況に応じて「通い」「訪問」「泊まり」の調整を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の変化についてタイムリーな報告、連絡、相談を徹底してるが、記録が不十分なことがあり、当日の勤務していない職員と共有ができないことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
日々の支援の中での変化に気付く観察力の強化と、地域の人、物、場所をしっかりとアセスメントし柔軟な支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 22 日 (17:30 ~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	1 人	1 人	14 人

前回の改善計画

※認知症カフェ等、地域活動の開催協力を継続する。  
※運営推進会議を活用し、災害時の協力依頼と体制作りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

全体的にコロナウイルスの影響で、地域との交流は少なくなっているが、感染対策を徹底したり、オンラインを活用した認知症カフェの開催や、地域の事業所（たかのご館、いちごの家）や地域の自主防災組織と連携して防災訓練を実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	4	3	4	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5	1	3	5	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4	4	4	2	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	3	9	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

感染状況を踏まえ、感染対策をしながら可能な地域交流（認知症カフェ、地域ケアマネ研修）に参加した。また、近隣の事業所（たかのご館、いちごの家）や鷹子地区の自主防災組織と協同で防災訓練を企画実施した。また、地域の子供神輿や獅子舞が事務所に来てくれ、利用者がとても喜ばれていた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

コロナウイルスの影響で活動が制限されており、予定通りに交流ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

感染対策を行い、可能な範囲で地域との交流を図ることで、事業所の周知と防災等の協力体制づくりを継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 22 日 (17 : 30 ~19 : 00)

7. 運営

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	9 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画

※運営推進会議を活用し、地域ニーズを理解し、色々な面で協力し合える地域体制を整備する。  
※チェック表や職員間の申し送り帳の活用など、チェック体制を強化する。

前回の改善計画に対する取組み結果

コロナウイルスの感染状況を踏まえ、運営推進会議については書面で開催しているが、利用者の家族や関係機関からいろいろな意見を頂きながら見直しや改善を行っている。記録はタブレットでしているが、排泄や食事量などの記録の抜けが多いため、チェック表を作成することで記録の抜けが減り、情報の共有もしやすくなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	6	4	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	7	3	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	5	2	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	8	2	2	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
チームオレンジの活動など、地域で暮らす認知症の方を支援する体制づくりに参加している。職員会での研修等で、法人の理念や事業所のコンセプトを説明している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
運営推進会議は書面での開催しかできておらず、文書での意見交換しかできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
運営推進会議を活用し、地域ニーズを理解し、色々な面で協力し合える地域体制を整備する。(継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 22 日 (17:30 ~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	11 人	2 人	0 人	14 人

前回の改善計画	管理者が定期的に職員と面談を行い、取得したい資格や希望する研修を確認し、動画やWEB開催の研修にも積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	管理者が職員と定期的に面談を行い、受講したい研修の確認と受講の調整を行いスキルアップに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	7	1	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	9	1	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	3	4	5	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	10	1	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
月に 1 回開催している職員会議で内部研修を行うだけでなく、WEBを活用した研修に参加し職員一人ひとりのスキルアップを図った。またヒヤリハット報告書を活用し、情報の共有をすることで大きな事故の防止を図っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会には管理者や計画作成担当者が参加し、他の職員が参加することがほとんどなかった。また日々の業務に追われヒヤリハット報告書の提出が減少してきている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
認知症カフェや地域連絡会に職員は順番で参加する。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 22 日 (17:30 ~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	12 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	利用者が安心して過ごせる環境の設定と平行して、一人ひとりのプライバシーを配慮した環境にも配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束については3ヶ月に1度、身体拘束委員会を開催し実際に身体拘束の必要性(切迫性、非代替性、一次性)のあるケースがないかを話し合いを行っている。また、個人情報やプライバシーにも配慮した声掛けや対応を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	2	0	0	14
②	虐待は行われていない	12	2	0	0	14
③	プライバシーが守られている	6	8	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	10	1	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	10	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 登録者 1 名が成年後見制度を活用している。身体拘束や虐待の防止については内部研修を開催したり、3 ヶ月に 1 度、委員会を開催し現状の確認を行い、身体拘束及び虐待の防止に努めている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職員の一部で、排泄の確認などプライバシーの配慮に欠ける場面が見られた。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者が安心して過ごせる環境の設定と平行して、一人ひとりのプライバシーを配慮した環境にも配慮する。(継続)
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原 哲雄	法人・事業所の特徴	「共に支え 共につくり 共に暮らす」という法人の理念のもと、令和2年10月に松山市鷹子町に開設した事業所です。利用者とその家族の生活スタイルに合わせ、「訪問」サービスを効果的に活用し、「通い」「宿泊」のサービスを柔軟に調整することで、安心して自宅での生活が継続できるよう職員一同、取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能ホーム里山	管理者	上山 晃		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	2人	0人	1人	14人	0人	20人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から職員間で意見を出し合い、改善計画の進捗状況を確認する。</li> <li>・運営推進会議で、事業所の改善計画の取り組みについて報告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼や月1回のミーティングで意見を出し合ったが、職員間の意識に差があった。</li> <li>・改善計画の取り組みについて、運営推進会議で報告することが十分にできなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9項目のテーマごとに、職員全員で振り返りを行い、改善しながら進めて頂いていることが理解でき、本人も家族も感謝しています。</li> <li>・「できている点」、「できていない点」がきちんと把握されているので、課題が明確になり改善計画に反映されていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会（ミーティング）を活用しケアカンファレンスだけでなく、業務改善や取り組みについて意見を出し合い、職員一人ひとりがチームの一員であることを自覚できるようにする。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者だけでなく、家族や地域住民が相談に来やすい雰囲気作りを行う。</li> <li>・音や匂いに配慮した空間作りと、自宅での過ごし方に配慮した環境設定を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関や駐車場にブランターを置いたりして明るい雰囲気作りを行った。</li> <li>・ケアマネジャーを中心に自宅の環境に合わせて宿泊部屋の設定を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物が新しいだけでなく、利用者が居心地のよい空間づくりに取り組んでおられる。</li> <li>・月に1回の病院の日は母を迎えに行きますが、外周りもキレイにされており、いつも気持ちが良いです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者だけでなく、家族や地域住民が相談に来やすいよう屋内外の環境整備を継続して行うと共に、玄関先に小規模多機能ホーム里山の看板を設置する。(利用者と共に看板を作成する)</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策を徹底した上で、地域の行事やイベントに参加し、事業所の周知、広報を行う。</li> <li>・事業所周辺の清掃を行い、地域住民と気持ちのよい挨拶を交わす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの影響で、行事、イベントは少なかったが、感染対策をして認知症カフェを開催したり、地方祭では子供神輿や獅子舞に在所してもらい交流を図れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの影響で、地域行事も少ないと思いますが公民館でカフェを開催したり、獅子舞や神輿に来てもらうなど積極的に地域と交流され、相談もしやすいと感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動や祭りなどの地域行事に参加し、事業所の周知、広報を行う。</li> <li>・利用者やご家族だけでなく、来所者及び事業所周辺を散歩している地域住民に対しても気持ちの良い挨拶を徹底する。(接遇研修を実施する)</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェや認知症サポーター養成講座を実施し、地域の介護力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェについては、公民館に集まり開催したり、コロナウイルスの感染状況によってはオンラインで開催を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェに参加したり、ドライブや畑での作業など屋外での活動をしてくれるので利用者の楽しみも増えていると思います。</li> <li>・認知症カフェはとても素敵なイベントだと思いますので引き続き取り組んでもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェや認知症サポーター養成講座を継続して実施し、地域住民に対して認知症の理解を促し、安心して過ごせる地域づくりを目指す。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題共有と、見守り等の協力体制作りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議は書面での開催で、日々の活動などは写真を見ていただき周知できたが、地域の共有課題については十分に共有ができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で、運営推進会議が書面での開催となり、意見交換や事例検討が難しいと思いますが、里山での日常の様子や地域行事への参加などの様子を報告書で確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら運営推進会議の集合開催を行い、地域の課題共有と、認知症利用者等の見守り等の協力体制作りを行う。</li> </ul>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議等を活用して、防災や避難訓練に地域の方々にも参加していただく。</li> <li>・鷹子地区の医療機関、介護サービス事業所と災害時の協力体制を整備する。</li> </ul>	<p>老人保健施設たかのご館、障がい者施設いちごの家、GH里山と合同で防災避難訓練を実施し、起震車で地震の体験をしたり、煙体験訓練をして職員の防災意識の向上を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人保健施設たかのご館、障がい者施設いちごの家、GH里山と合同で災害訓練を行っており、次年度も協力して訓練をしていきましょう。</li> <li>・非常災害の時は、家族もすぐに駆け付けることができないと思いますので、定期的に訓練をして頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹子地区の医療機関、障害者及び介護サービス事業所との合同防災訓練を継続していくと共に、防災以外（感染対策）の協力体制の整備を行う。</li> </ul>
----------------------------	---	---	---	--

